

大阪大学生協 卒業生アンケート 2023 報告書

<調査結果概要>

- 2023年3月に大阪大学を卒業/修了した組合員に向けてWebアンケートを実施した。
- コロナ禍を経験した大学生が、最も時間を費やした事柄は勉学研究であった。
- クラブ・サークルへの入部、長期間のアルバイト、国内旅行などは経験出来た一方、コロナ禍の影響で留学や海外旅行など国外での経験が出来なかった模様である。
- 大学生生活の充実度に影響を与える要因として、「やりたいことをやれた」「自己肯定感があがった」「友人の存在」「将来の展望が開けた」の4項目が大きいと分かった。
- 卒業前後の不安は、学部生・院生を問わず卒業論文・研究への不安が最多である。
- 「興味のある学問分野・研究テーマがある」「様々な学問分野に触れられる」が、大阪大学の魅力として認識されている。
- 大阪大学生協に対して、好意的なご意見が多い一方で、サービス向上に関する改善点を記入する方も多い。

目次

1. 調査概要
2. 大学時代の経験
3. 大学時代にできなかったこと
4. 大学時代の学びについて
5. 社会との関わりについて
6. 大学時代の充実度について
7. 大学生活を通じて成長を感じた場面
8. 大阪大学へのイメージ
9. 卒業前後の不安・困り事/進路選択
10. 先輩から後輩へのメッセージ
11. 大阪大学生協に対する評価/コメント

1. 調査概要

目的

- 卒業生の大学時代の経験や教訓を後輩に伝え、より良い大学生活を送れるようサポートするため。
- 卒業される組合員の声を大切に、今後の大学生協の各種事業活動・組合員活動の改善に取り組むため。

方法

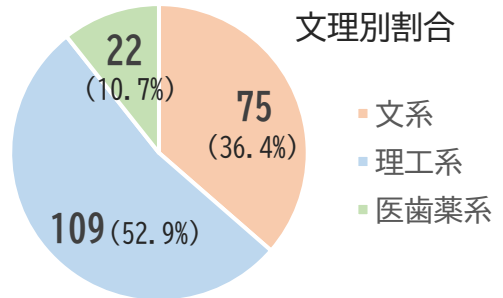
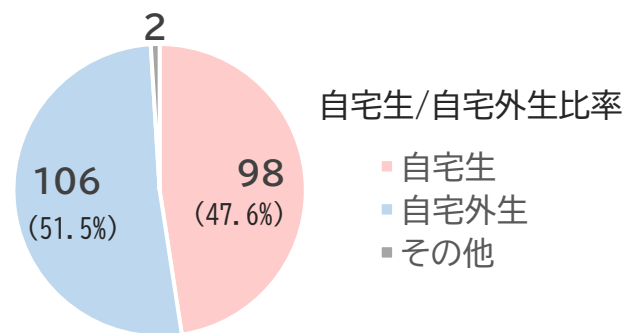
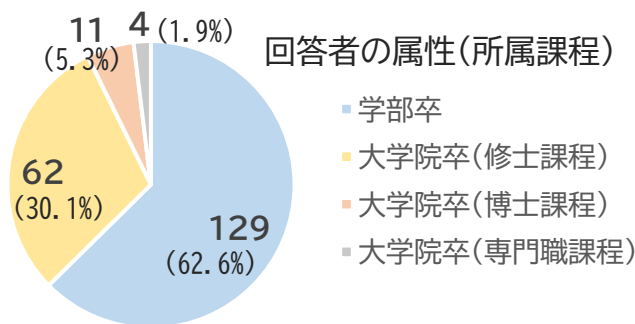
- Googleフォームを活用したインターネット調査
- 大阪大学生協LINE登録者への連絡(大学4年生・修士2年生・博士3年生)、卒業生DMに同封したリーフレットを通じて呼びかけ。

時期

2022年12月～2023年3月

回答属性

合計 206回答



※大阪大学全体の在校生割合は、文系が約44%、理工系が約40%、医歯薬系が約16%であり、本調査のサンプルと大きな乖離はないと判断できる。

所属学部・研究科	総数
文学部・人文学研究科	12
人間科学部・人間科学研究科	13
外国語学部	24
法学部・法学研究科	9
経済学部・経済学研究科	7
理学部・理学研究科	12
基礎工学部・基礎工学研究科	20
工学部・工学研究科	74
医学部・医学研究科	14
歯学部・歯学研究科	2
薬学部・薬学研究科	6
高等司法研究科	4
その他/回答無し	9

特徴

2022年度卒業の大学生活と社会情勢

年度	学部生	医歯薬	修士課程	社会や大学生活での主な出来事
2017		1年生	学部1年	衆議院選挙(10月)
2018		2年生	学部2年	平昌オリンピック(2月)
2019	1年生	3年生	学部3年	「令和」に改元(5月)
2020	2年生	4年生	学部4年	コロナ禍「緊急事態宣言」(4月～) 大学の授業はオンライン化、部活・サークル等の行動制限
2021	3年生	5年生	修士1年	東京オリンピック・パラリンピック(7月～8月) コロナワクチン接種開始(2月～) 衆議院選挙(10月) 外国語学部の箕面船場地区へのキャンパス移転(4月)
2022	4年生	6年制	修士2年	ロシアによるウクライナ侵攻(2月) 円安・資源高による物価高騰 参議院選挙(7月) 文学・言語文化の2研究科統合→「人文学研究科」新設(4月)

2. 大学時代の経験

【質問内容】

- ① 大学での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
- ② 大学外かつ国内での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
- ③ 大学外かつ国外での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
- ④～⑥ あなたが大学生生活で1番・2番目・3番目に「時間を費やした」事柄を教えてください。【複数回答】

※上記について以下選択肢からひとつを選ぶ

勉学・研究／試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)／試験合格や資格取得を目指した稽古・練習／アルバイト／社会人活動(収入を得て働く)／所属する学内団体への活動(部活・サークル等)／所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)／趣味を充実させる／余暇を充実させる(遊び)／身体を鍛える／特に思いつかない／他

大学時代に経験したこと・経験の時期

経験内容(%)	無	有合計	経験の時期							卒業までに経験する予定
			入学前	1年生	2年生	3年生	4年生	大学院		
学内	クラブ・サークルへの入部	15.0	85.0	12.1	76.7	27.2	24.8	10.2	2.4	0.5
	学会や研究会での発表(オンライン)	50.0	50.0	3.9	2.4	1.9	4.9	15.0	24.8	7.8
	学会や研究会での発表(対面)	47.6	52.4	5.3	2.9	2.4	3.4	15.0	21.8	9.7
	怪我や病気で大学に行けない期間があった(数日～10日程度)	74.3	25.7	5.3	5.3	4.4	5.8	6.3	6.8	1.5
学外(国内)	怪我や病気で大学に行けない期間があった(10日間以上)	86.9	13.1	4.9	2.9	1.5	1.9	2.4	1.0	1.5
	インターンシップ(数日程度)	39.3	60.7	2.9	1.9	0.5	27.2	3.9	21.4	7.3
	1週間以上のインターンシップ	67.5	32.5	3.9	1.5	0.5	9.7	3.4	8.3	7.8
	短期間のアルバイト(単発・数日程度)	30.6	69.4	5.8	33.0	27.7	30.6	22.3	12.1	1.5
	長期間のアルバイト(1カ月以上)	7.8	92.2	3.4	61.7	66.0	70.4	62.1	22.3	2.4
	国内旅行	10.2	89.8	18.4	67.5	58.7	60.2	57.3	24.3	4.9
学外(国外)	ボランティア活動	67.0	33.0	5.8	8.3	8.7	9.7	5.8	5.3	3.9
	海外旅行	44.7	55.3	13.6	18.0	13.1	13.1	12.6	4.4	8.7
	語学研修	78.2	21.8	7.8	5.3	3.4	4.4	0.5	1.0	2.4
	留学	80.1	19.9	5.8	3.9	1.0	6.3	1.9	1.9	1.9
	海外でのインターンシップ	89.3	10.7	4.4	1.9	0.0	2.4	0.0	0.5	2.4
	海外でのアルバイト	90.8	9.2	3.9	0.5	0.5	1.9	0.0	0.0	2.4
海外でのボランティア活動	88.8	11.2	3.9	1.5	1.0	2.4	0.0	0.0	2.4	

- クラブ・サークルへの入部、長期間のアルバイト、国内旅行などは経験をしたことがある阪大生が多いと分かる。
- 一方で、国外の活動についてはコロナ禍での渡航制限も影響し、他の項目と比較して低い傾向が見られる。

大学時代に時間を費やしたこと

大学生生活で一番「時間を費やした」事柄

大学時代に最も時間を費やした事項	全体		文系		理工系		医歯薬系	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
勉学・研究	113	54.9	33	44.0	66	60.6	14	63.6
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	9	4.4	7	9.3	1	0.9	1	4.5
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	4.5
アルバイト	11	5.3	5	6.7	5	4.6	1	4.5
社会人活動(収入を得て働く)	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	4.5
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	38	18.4	15	20.0	21	19.3	2	9.1
所属する学内団体への活動(NPO、ボランティア団体等)	3	1.5	0	0.0	3	2.8	0	0.0
趣味を充実させる	16	7.8	7	9.3	8	7.3	1	4.5
余暇を充実させる(遊び)	11	5.3	6	8.0	5	4.6	0	0.0
身体を鍛える	1	0.5	0	0.0	0	0.0	1	4.5
特に思いつかない	1	0.5	1	1.3	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

大学生生活で「時間を費やした事柄」総合順位

1番「時間を費やした事柄」=3P、2番目に「時間を費やした」事柄=2P、3番目に「時間を費やした」事柄=1Pとして集計した結果

大学生生活で時間を費やした事項 総合順位	全体		文系		理工系		医歯薬系	
	Point	割合	Point	割合	Point	割合	Point	割合
① 勉学・研究	456	36.9	142	31.6	263	40.2	51	38.6
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	65	5.3	45	10.0	7	1.1	7	5.3
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	14	1.1	4	0.9	1	0.2	7	5.3
③ アルバイト	193	15.6	81	18.0	50	7.6	12	9.1
社会人活動(収入を得て働く)	10	0.8	7	1.6	0	0.0	5	3.8
② 所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	206	16.7	65	14.4	117	17.9	10	7.6
所属する学内団体への活動(NPO、ボランティア団体等)	15	1.2	5	1.1	16	2.4	0	0.0
趣味を充実させる	126	10.2	44	9.8	57	8.7	7	5.3
余暇を充実させる(遊び)	114	9.2	45	10.0	49	7.5	4	3.0
身体を鍛える	10	0.8	1	0.2	1	0.2	6	4.5
特に思いつかない	20	1.6	8	1.8	5	0.8	3	2.3
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

- 最も時間を費やした事項として、「勉学・研究」が上位に挙がる点は大阪大学の特徴であると考えられる。
- 加えて、「学内団体での活動」や「アルバイト」など、学業以外の時間も充実させている阪大生が多いと伺える。

3. 大学時代に出来なかったこと

【質問内容】

①大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はありますか？【ある/ないの選択式】

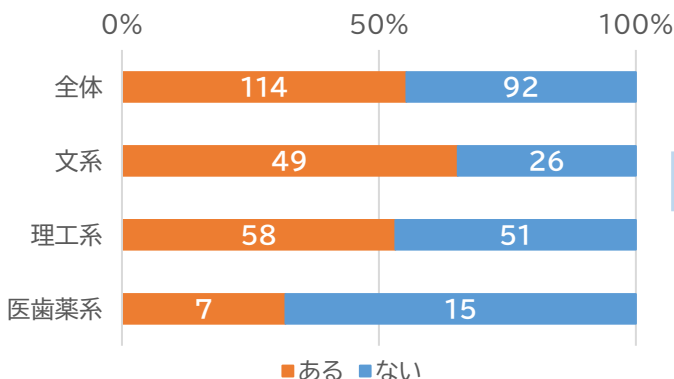
②経験しておきたかったけどできなかった経験について(その1/その2/その3)【自由記述】

③経験できなかった主な要因は何ですか？【選択式】

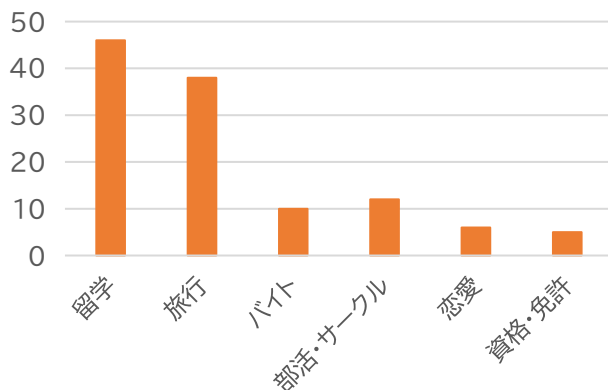
※選択肢:コロナ禍で経験の機会が奪われた、時間に余裕が無かった、お金の余裕が無かった、「そのうちやろう」と先延ばしにしてしまった、タイミングが合わなかった、このアンケートで「経験したかった」と思い出した、その他

大学時代に経験できなかったこと

大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験



大学時代にできなかった経験(人)



- 半数以上の卒業生が大学時代にできなかった経験があると回答した。特に、文系・学部の卒業生では顕著に「できなかった経験」が多い模様。
- 大学2年生からコロナ禍を経験してきた世代だからこそ、「できなかった経験」に海外留学や海外旅行などが多く挙げられました。

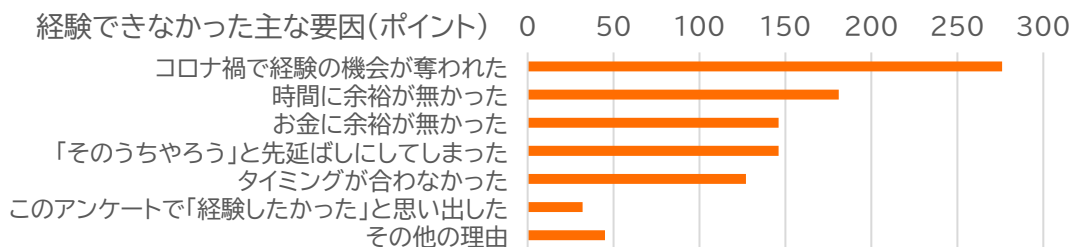
経験	留学	旅行	バイト	部活・サークル	恋愛	資格・免許
延べ人数	46	38	10	12	6	5

うち、海外への旅行を挙げる人が30人以上

大学時代に経験できなかった要因

ポイントは「最大の要因」=3P、「第二の要因」=2P、「第三の要因」事柄=1Pとして集計した結果

経験できなかった主な要因	最大の要因 (人)	第二の要因 (人)	第三の要因 (人)	ポイント (pt)
コロナ禍で経験の機会が奪われた	72	20	20	276
時間に余裕が無かった	25	37	32	181
お金の余裕が無かった	20	34	18	146
「そのうちやろう」と先延ばしにしてしまった	28	20	22	146
タイミングが合わなかった	12	30	31	127
このアンケートで「経験したかった」と思い出した	7	2	7	32
その他の理由	9	5	8	45

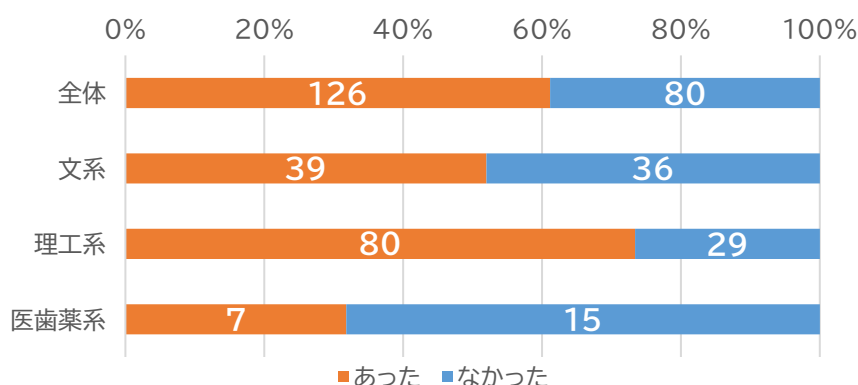


- コロナ禍で経験の機会が奪われたという要因が最大となった。特に、出来なかった経験に海外への留学や海外旅行などを挙げる人にとって、コロナ禍での渡航制限や行動制限は大きな影響を与えている。
- また、時間やお金に余裕がなかった、先延ばしにしてしまったという意見も多くあった。自由記入欄には、「大学時代はあっという間に終わるので早めに行動しよう」「やりたい経験があれば、計画的に取り組むべきだった」「完璧を目指さず、まずはとりあえずの精神で手を出しておくといい」といったアドバイスも多くみられた。

4. 大学時代の学びについて

英語学習について

TOEICやTOEFLのスコアが必要だった場面



必要だった場面について

大学院入試	72
就活	37
留学	9

- 英語試験のスコアが必要だった場面について、理系を中心に大学院入試で必要だったという声が目立ちました。
- 文系では、就職活動においてTOEICのスコアがあると優遇されるという声が多くありました。
- また、留学をする際にスコアが必要となるという意見も見られました。

必要となったスコアについて

- ✓ 院進学でTOEIC700点台を目指して勉強した人が多く、600点台の人は他の科目でカバーした模様です。
- ✓ また、就職活動でもTOEIC700点台以上あればアピールポイントにできた就活生が多いようです。
- ✓ 留学を目指す人の中には、TOEIC800点台やIELTS6.5を目指す人もいます。

- 対策本を購入して繰り返し演習を行うことでスコアアップを図った人が多いようです。

スコアアップのために取った行動について

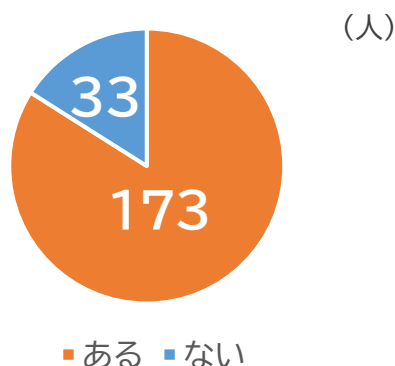
スコアアップのための行動	全体(人/%)	文系	理工系	医歯薬系
対策本を購入した	89 / 71%	25 / 64%	57 / 71%	7 / 100%
有料オンライン講座へ申し込んだ	10 / 8%	3 / 8%	6 / 8%	1 / 14%
大学の講義や講座を活用した	11 / 9%	4 / 10%	7 / 9%	0 / 0%
無料動画を活用して勉強した	25 / 20%	8 / 21%	14 / 18%	3 / 43%
特に何もしていない	21 / 17%	7 / 18%	14 / 18%	0 / 0%

先輩からのアドバイス

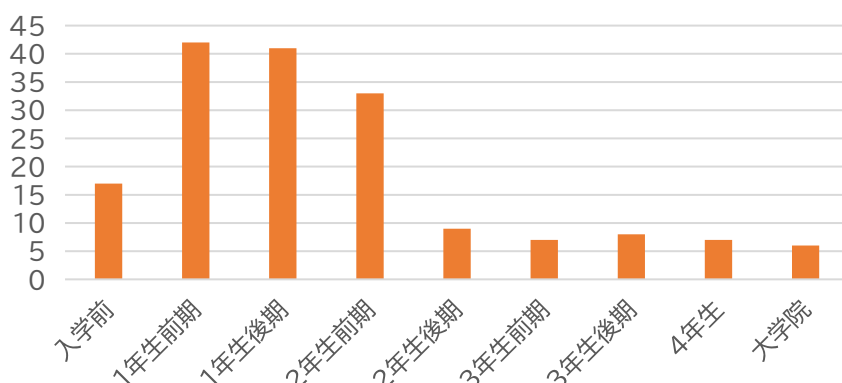
- ✓ 英語の資格やスコアは持っていても損はないです。自分の可能性を広げるチャンスだと思うので、絶対に上げておくべきだと思います。
- ✓ 経験値がものを言うので、とにかく試験を受けまくってください！慣れるほど点数が伸びます。
- ✓ 大学一年生など早めからするに越したことはないです。
- ✓ 英語は受験で終わりではなく常に触れておけ。1、2年の早いうちからコツコツ取り組んでおこう。
- ✓ 普段から講義や動画、会話等を通じて英語に慣れ親しんでおきましょう。
- ✓ 社会に出てから英語は出来て当たり前だと言う人もいるので頑張りましょう。

自動車教習所

自動車学校への通学経験はありますか？



自動車学校への入校時期(人)



- 大学1、2年生のうちに免許を取得する人が全体の70%以上と分かり、早めに教習所に通うことがおすすめです。
- 大学生協を通じて申込を行った人が71名(41%)となっており、特に大学周辺の教習所に通う人が多いようです。

5. 社会との関わりについて

SDGsに関するアクションについて

【質問内容】

①あなたはSDGsにおける関心のある課題に対してどのような関わりをしましたか？

※選択肢:関心がなく何もしなかった／関心はあったが特に何もしなかった／関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした／関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした

②SDGsについてあなたが起こしたアクションについて

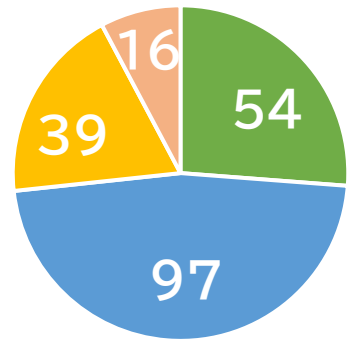
・17のテーマ(複数回答可)

・あなたが起こしたアクションを具体的に教えてください(複数回答可)

※選択肢:知識を深めるためのセミナーや学習会に参加/SNS上で自分の意見や考えを発信/署名活動に参加/クラウドファンディングや募金などの資金提供/集会やデモへ参加/就職先を検討する際に重要視した

SDGsへの関わり

関心が無く何もしなかった	54人(26%)	■
関心はあったが特に何もしなかった	97人(47%)	■
関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした	39人(19%)	■
関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした	16人(8%)	■

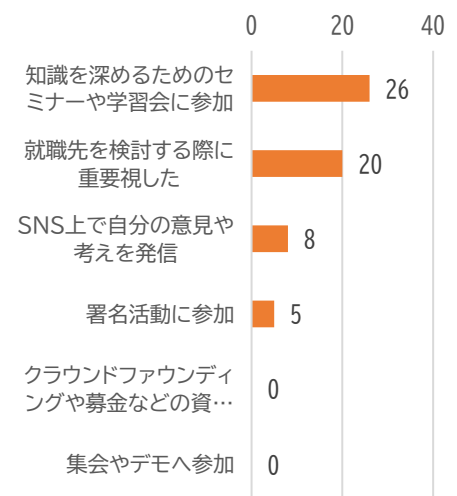


SDGsに関するアクションについて	全体	文系	理工系	医歯薬系
関心が無く何もしなかった	54 (26%)	19 (25%)	30 (28%)	5 (23%)
関心はあったが特に何もしなかった	97 (47%)	32 (43%)	50 (46%)	15 (68%)
情報を調べたり、考えたりした	39 (19%)	16 (21%)	21 (19%)	2 (9%)
自分でできるアクションを起こした	16 (8%)	8 (11%)	8 (7%)	0 (0%)

どんなテーマに対してアクションを起こしたか

Goals(複数回答可)	全体	文系	理工系	医歯薬系
1 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	16 (29%)	4	11	1
2 質の高い教育をみんなに	15 (27%)	9	6	0
3 つくる責任 つかう責任	15 (27%)	7	8	0
4 ジェンダー平等を実現しよう	13 (24%)	10	3	0
5 人や国の不平等をなくそう	10 (18%)	7	3	0
6 貧困をなくそう	9 (16%)	7	2	0
7 住み続けられるまちづくりを	9 (16%)	1	8	0
8 気候変動に具体的な対策を	9 (16%)	4	5	0
9 すべての人に健康と福祉を	7 (13%)	4	2	1
10 働きがいも経済成長も	7 (13%)	5	2	0
11 飢餓をゼロに	6 (11%)	3	3	0
12 海の豊かさを守ろう	6 (11%)	4	2	0
13 安全な水とトイレを世界中に	6 (11%)	1	5	0
14 平和と公平をすべての人に	3 (5%)	3	0	0
15 陸の豊かさを守ろう	3 (5%)	2	1	0
16 産業者技術革新の基礎をつくろう	2 (4%)	0	2	0
17 パートナースHIPで目標を達成しよう	2 (4%)	0	2	0

アクションの内容



- 関心を持った人が、情報を調べたり考えたりすること、自分でできるアクションを起こすことは一定数見られた。特に、文科系の学生ではSDGsに関心を持ち行動している人が多い結果となった。
- 関心のあるSDGsのGoalについて、「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」が最も多かった。特に理工系で支持されている。また、文系では「質の高い教育をみんなに」「ジェンダー平等を実現しよう」などが多い。このように、大学で勉強・研究しているテーマと、SDGsの関心が連動していることが伺えた。
- アクションの内容としては、セミナーや勉強会への参加、就職先の検討の際に最重視したなどが挙げられる。就職活動の中でも、社会に目を向けるきっかけを作っていくことが重要であると考えられる。

6. 大学時代の充実度について

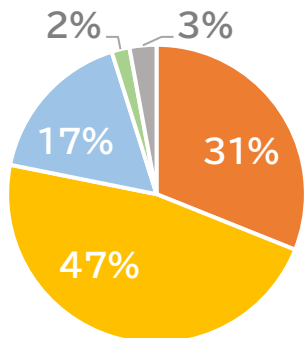
【質問内容】

①大学生活はどれくらい充実していましたか？(5件法/5とても~1まったく)

②以下の事柄においては充実していましたか？YES/NO

勉学・研究活動/部活・サークル/友人の存在/憧れ・目指す人の存在/推しの存在/恋愛/やりたいことをやれた/将来の展望が開けた/自己肯定感があがった/自分にとって価値のある成果を残せた

■ 大学生生活の充実度

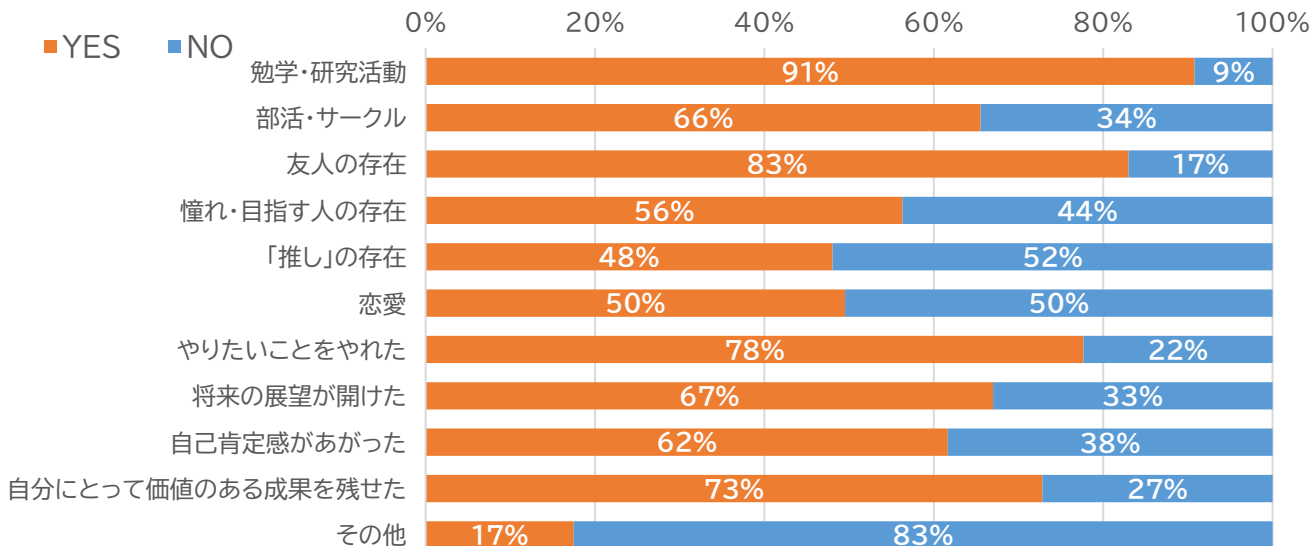


全体結果(206人)

満足度	人数
(とても)5	64人
4	97人
3	35人
2	4人
(まったく)1	6人

- 全体的な充実度の平均点は【4.02】となり、分布をみると、充実度が高い「5」「4」の人が大多数を占めていることが特徴です。
- 自宅生の充実度の平均が【3.91】であるのに対して、自宅外生では【4.11】と、若干自宅外生の方が大学生活の充実度が高いです。
- 「勉学・研究活動」の充実度が高いことから、勉強に励んで大学生活を終えたという印象を持っている人が多いようです。
- 一方で、「部活・サークル」の充実を「No」と回答した人が3分の1程度存在することから、コロナ禍の影響を受けたことも伺えます。
- 恋人の存在や、憧れ・目指す人の存在について「No」と回答した人が多い点も特徴です。

■ 以下の事項については充実していたか？



	勉学・研究活動	部活・サークル	友人の存在	憧れ・目指す人の存在	「推し」の存在	恋愛	やりたいことをやれた	将来の展望が開けた	自己肯定感があがった	価値のある成果を残せた	その他
文系	89%	64%	83%	55%	53%	60%	79%	68%	59%	83%	21%
理工系	92%	69%	85%	56%	45%	46%	76%	63%	62%	65%	15%
医歯薬	91%	55%	73%	64%	45%	32%	82%	82%	68%	77%	18%

■ 大学生生活の充実度における相関係数

項目	相関係数	相関の有無
やりたいことをやれた	0.55	正の相関
自己肯定感があがった	0.46	正の相関
友人の存在	0.46	正の相関
将来の展望が開けた	0.40	正の相関
価値のある成果を残せた	0.37	弱い正の相関
部活・サークル	0.35	弱い正の相関
憧れ・目指す人の存在	0.31	弱い正の相関
勉学・研究活動	0.30	弱い正の相関
恋愛	0.29	弱い正の相関
その他	0.08	相関なし
「推し」の存在	0.07	相関なし

- 大学生生活の充実度に関して、正の相関が見られたのは「やりたいことをやれた」「自己肯定感があがった」「友人の存在」「将来の展望が開けた」の4項目でした。
- 大学時代にやり残したことがある人も多いことは前述のアンケート結果からも分かりましたが、「やりたいことをやれた」経験や、やりたいことを見つけたことが出来た経験が大学生活の充実につながっていると推測できます。
- また、自己肯定感を高めるために自己分析・自己認識をできるような機会を用意する、将来の展望を開けるように就職支援・院進学支援・資格取得支援などを強化していくことも重要と考えられます。
- 「友人の存在」についても大学生活を充実させるために重要な要素であると分かります。コロナ禍で友人との交流が十分にできなかった世代ではありますが、仲間づくりの場を用意することが重要だと考えられます。

※相関係数について：大学生活での各項目の充実度への「YES/NO」の回答と、大学生活全体の充実度の「高～低(5段階)」に相関関係があるかを示しています。0～1の範囲で表され、数値が高いほど、大学生活全体の充実度に影響を与えていると考えられます。

7. 大学生活を通じて成長を感じた場面

【質問内容】

- ①大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験（その1, 2, 3）について具体的に教えてください。
②成長した経験(その1, 2, 3)から得た『教訓』を教えてください。 ※以下の回答は質問①と②を併せて文章化しています。

部活・サークル・アルバイト

1人で日本一周を目指して旅をした。旅の途中で様々な人に出会い、いろんな価値観を学べた。人の視点を自分の中に入れることで、もっと広く物事を見ることができる。

他者とのコミュニケーション能力を、課外活動のリーダーをする中で身につけることができた。相手の話を聞くこと、相手の立場になって物事を考えることが重要と学んだ。

アルバイトで初めて接客業を経験した。マニュアル通りではなく、お客さん一人ひとりに合わせた接客が大事である。一人ひとりにあわせて向き合っていくことが大切である。

多人数で意思決定する場面で意見がぶつかった際に、主張するだけでなく冷静に他人の意見をまとめることで、全体の意思決定をスムーズに進められるようになった。

コロナでサークル活動ができないなか、オンラインで新歓活動を行ったことでなんとかサークルの存続ができた。自分にできることをやっていたら結果は後からついてくる。

大学での学び・研究活動

研究活動を通じて、他人の目を気にせず、自分のやりたいことを考え抜くことが大事だと学んだ。

研究活動において、課題解決のために何が必要なかを考えて、必要な知識を吸収し、能動的に学習を行った経験。視野を狭めることなく幅広い分野を横断的に学習すべき。

理解することが難しい概念を学び続ける姿勢。物事は時間をかけて関わり続けなければいつの間にか分かるようになっていく。

日ごろからコツコツ勉強していたことでテスト前に苦労しなかった。継続は力なり。

大学での勉強を通じて、結果も大事だが、そこに至るまでの過程も同様に大事であることを学んだ。

大学での暮らし

初めて一人暮らしをしたことで家事の大変さを知った。家事を自分でやることで、家事の大変さを知って親の大切さを知るいい機会になった。

全体的に生活力が上がった。電話嫌いだけど一人暮らしは諸々の手続きで電話も必要なので。最低限のコミュニケーション能力は必要。

彼女ができたが、なかなかお互い素直になれずに振られた。長く付き合うためには、告白する勇気や行動力はもちろんのこと、お互いに擦り合わせることが大事であることを学んだ。

初めての一人暮らしを通じて、自己管理能力が上がった。

精神的に参っていたときに、1人で閉じこもって悩んでしまいがちだったが、大学の友達に話を聞いてもらい、何が原因だったのか突き止めて、改善するための計画を立てることが出来るようになった。

将来を意識した行動・夢

司法試験予備試験に向けて自主的に勉強したことです。しんどいときこそ成長しているという教訓を得ました。

就活で自分の考えを言語化して相手に伝える能力を伸ばした。コミュニケーションとは相手に正確に伝えることである。

就職活動を通じて、自分の長所は、自分が無意識で出来ていることに隠れていることを学んだ。

国家試験、直前の模試でかなり点数が低かったが、一週間前に徹夜続きで詰め込んだことにより合格できた。前もって計画的に準備すること。最後まで諦めないこと。

就職活動で論理的な話し方や自己表現の仕方を学んだ。積極性や自己表現能力が大事であることを実感した。

その他

病気の中で耐え忍んで卒業まで乗り越える経験。自分自身を大切にすることが大事。

入学時は色々な切欠を守れずに迷惑をかけたが、卒業時には切欠に向けて事前に確認し続けた。早め早めの行動を心掛けた。

年齢や立場様々な人たちと出会い、仲良くなる経験ができた。相手に興味を持って話を聞くことが大事だと実感した。

世の中には知らない世界が沢山あり、自分の常識が誰かにとっては常識ではないことがある。知らない、分からないことを恥ずかしがらない。

留学中、言葉の理解も不十分な中で、交通機関、在留許可証の発行手続き、海外で保険会社に行く、ボランティア団体探しと加入など、さまざまなことを一人で挑戦できた。

8. 大阪大学へのイメージ

【質問内容】

①大阪大学・大学院に通ってよかったと思う点を全て選択してください。【複数回答】

※選択肢：興味のある学問分野・研究テーマがあること、総合大学として様々な学問分野に触れられること、国際的な学習経験や活動ができること、キャンパスの雰囲気が良いこと、キャンパスライフが楽しいと感じること、部活やサークルの活動が魅力的であること、経済的負担が少ないこと、取りたい資格や免許が取得できること、施設や設備が充実していること、就職などの進路選択に有利に働くこと、知名度やブランド力があること、地域社会とのつながりが強いこと、特になし

②大阪大学に在籍して感じた、阪大ならではの魅力は何ですか？(ない場合は「なし」と記述ください)

■大阪大学・大学院に通ってよかったと思う点

大阪大学に通ってよかった点【複数回答可】	全体		文系		理工系		医歯薬系	
興味のある学問分野・研究テーマがあること	135	66%	49	65%	74	68%	12	55%
総合大学として様々な学問分野に触れられること	104	50%	48	64%	49	45%	7	32%
国際的な学習経験や活動ができること	42	20%	24	32%	13	12%	5	23%
キャンパスの雰囲気がよいこと	57	28%	34	45%	19	17%	4	18%
キャンパスライフが楽しいと感じること	50	24%	18	24%	27	25%	5	23%
部活やサークルの活動が魅力的であること	65	32%	26	35%	34	31%	5	23%
経済的負担が少ないこと	69	33%	28	37%	35	32%	6	27%
取りたい資格や免許が取得できること	14	7%	5	7%	3	3%	6	27%
施設や設備が充実していること	48	23%	16	21%	27	25%	5	23%
就職などの進路選択に有利に働くこと	69	33%	27	36%	36	33%	6	27%
知名度やブランド力があること	100	49%	43	57%	48	44%	9	41%
地域社会とのつながりが強いこと	5	2%	1	1%	3	3%	1	5%
特になし	7	3%	1	1%	5	5%	1	5%
有効回答数	206		75		109		22	

大阪大学に通ってよかった点【複数回答可】	学部生		大学院生	
興味のある学問分野・研究テーマがあること	79	61%	56	73%
総合大学として様々な学問分野に触れられること	70	54%	34	44%
国際的な学習経験や活動ができること	31	24%	11	14%
キャンパスの雰囲気がよいこと	41	32%	16	21%
キャンパスライフが楽しいと感じること	33	26%	17	22%
部活やサークルの活動が魅力的であること	44	34%	21	27%
経済的負担が少ないこと	48	37%	21	27%
取りたい資格や免許が取得できること	11	9%	3	4%
施設や設備が充実していること	30	23%	18	23%
就職などの進路選択に有利に働くこと	40	31%	29	38%
知名度やブランド力があること	67	52%	33	43%
地域社会とのつながりが強いこと	4	3%	1	1%
特になし	4	3%	3	4%
有効回答数	129		77	

- 「興味のある学問分野・研究テーマがある」「様々な学問分野に触れられる」が文理問わず大阪大学の魅力として認識されている。
- 文系については「キャンパスの雰囲気が良いこと」が高評価であることが特徴的といえる。

- 大学院生については「興味のある学問分野・研究テーマがある」点に魅力を感じている。
- 一方で学部生については「様々な学問分野に触れられる」点や「知名度やブランド力がある」点に魅力を感じている。

■在籍して感じた、阪大ならではの魅力について

様々な分野に興味をもっていたり、おもしろい価値観をもつ人々に出会えたこと。
(外国語学部)

隣に座ってる人が優秀であること。魅力的な人と出会えること。
(薬学研究科)

先生方が親身になって指導して下さること、図書館が充実していること。
(人文学研究科)

人の温かさ、楽しみながら学んでいるところ。
(薬学研究科)

人の温かさ、楽しみながら学んでいるところ。
(工学研究科)

学生数が多いため、総合大学としての雰囲気が味わえること。
(医学部)

外国語学部が大きい、様々な国の人や文化に触れられる。
(工学研究科)

穏やかで個性的・向上心にあふれるひとがたくさんいるところ！
(外国語学部)

産学官連携による研究に取り組みやすいところ。
(医学部)

真面目な努力家が多く、勉強の励みになること。
(外国語学部)

ネームバリューは圧倒的。良い意味で癖が強く、でも話が通じないわけではない面白い人が集まっている。
(工学研究科)

知名度があり有名な総合大学であり、幅広い学部を有しているため様々なタイプの友人と知り合えた。
(外国語学部)

通学が楽(山の中にあるとかではない)で、梅田にも近いので、大学生活を送るのに居心地が良かった。
(経済学部)

他学部の友達ができるというのは総合大学の良さであり、自分とは全く違う分野を極めている友人を純粋に尊敬できる。
(外国語学部)

さまざまな学科の授業を取れる。教授に大阪人が混じっていて面白い。ワニ博士が可愛い。
(法学部)

9. 卒業前後の不安・困り事/進路選択

【質問内容】

①秋頃から現在、以下の項目で不安を感じたり、苦勞したことはありますか？(複数選択可)

※選択肢:卒業論文・卒業研究を仕上げるのに不安や苦勞があった、支出面において不安や苦勞があった、収入面(アルバイト等)において不安や苦勞があった、新生活準備について不安や苦勞があった、不安を感じたり苦勞したことはなかった、その他

②不安や困り事に直面した際に「もっとこうしておけばよかった」と思うことがあればご記入ください。

③2023年からの進路選択について教えてください。就職をする方は業種を教えてください。

④進路選択を考え始めた時期はいつですか

■不安を感じた・苦勞したことについて

卒業前後で不安を感じた・苦勞したこと【複数選択可】	全体	学部生	大学院生
卒業論文・卒業研究を仕上げるのに不安や苦勞があった	142 69%	86 67%	56 73%
支出面において不安や苦勞があった	62 30%	39 30%	23 30%
収入面(アルバイト等)において不安や苦勞があった	60 29%	41 32%	19 25%
新生活準備について不安や苦勞があった	62 30%	37 29%	25 32%
不安を感じたり苦勞したことはなかった	37 18%	25 19%	12 16%

卒業前後で不安を感じた・苦勞したこと【複数選択可】	文系	理工系	医歯薬系
卒業論文・卒業研究を仕上げるのに不安や苦勞があった	43 57%	87 80%	12 55%
支出面において不安や苦勞があった	26 35%	30 28%	6 27%
収入面(アルバイト等)において不安や苦勞があった	22 29%	32 29%	6 27%
新生活準備について不安や苦勞があった	31 41%	22 20%	9 41%
不安を感じたり苦勞したことはなかった	17 23%	12 11%	8 36%

- 不安な点について、学部生と大学院生で著しい差はないことが明らかになった。
- 全体的に卒業論文・研究への不安は大きいと分かる。

- 理工系の学生は、特に卒業論文・研究に対する不安が大きい。
- 文系、医歯薬系の学生については、新生活準備への不安が大きい。

■不安や困りごとに対して「もっとこうしておけばよかった」



研究関係

早く行動する、計画的に進めるといったアドバイスが多いです。

- 卒業論文を書き進めるスケジュールを明確に定めておけばよかった。(外)
- ギリギリになるまで卒論に取りかかれず、できてなさすぎて先生にも何を相談していいかわからない状態になってしまった。何もできてなくても恥をすてて早く相談にいけばよかった。(文)
- 1年次から研究を進めるべきだった。(国際公共・院)
- 勇気があるけれど、しっかりと不安の原因を明確化して把握すべきだった。把握してみると意外と大したことではない。(高等司法・院)
- 先生にもっと頼るべきだった、一人でなんでもしようとしなくてよかった。(基)
- 計画をザックリと立て、今自分がどのあたりにいるのかを把握しておけばよかった。(工)
- もっと早い段階から行動に移すべきであった。(基・院)
- 自分から進んで情報を獲得していくべきであった。特に修論などの作成では、分からないことが多かったが、もっと先生に指導を仰ぐべきだったと感じている。(工・院)



支出・収入関係

貯金や節約に関する記載がありました

- 理系は時間がないから、貯金しておくべきだった。(工)
- 不安の根っこにあるのは貯金不足だった。時間のあるときにもっとアルバイトをしておけばよかった。(工)
- もっとアルバイトをして、お金を貯めておけばよかったです。(国際公共・院)
- お金は別口座を作ってしっかり貯金しておく。(外)
- 貯金を確認すべきだった。(人文・院)



人間関係・その他

周囲を頼り相談することが大事です！

- 簡単ではないが、1年次から4年間の生活を見据えて過ごすべきだった。(法)
- 家族や周囲との対話。(言語文化・院)
- 不安に思う時間は無駄だから、行動するべきだった。(薬・院)
- 周りの同級生に相談すべき。(工)
- 病気になるないように健康的な食事。(人科)

■将来の進路について

2023年からの進路選択	人数
就職(民間企業)	99
就職(公務員)	12
就職(教員・教職)	5
医療関係	3
進学(大阪大学の大学院)	65
進学(大阪大学以外の大学院)	7
その他・未定	13

- ・「しっかり自分のことと社会のことを考え、結びつけてください。」
- ・「早めに情報収集しておいた方が良い。」
- ・「何をしたいかが分からなければ、まずは自分の学部の勉強を必死でやってみてほしい。そこから生まれた感情に従ったらいい。」
といったアドバイスを多く頂きました！

●就職について

考え始めた時期	人数	割合
大学入学前	15	14%
大学1年生	3	3%
大学2年生	7	6%
大学3年生前半/修士1年前半	54	50%
大学3年生後半/修士1年後半	22	20%
大学4年生/修士2年	8	7%

大学3年生前半(修士1年生前半)から、インターンや早期選考などの案内が届くため、同時期に考え始める人が多い模様である。

●大学院進学について

考え始めた時期	人数	割合
大学入学前	19	28%
大学1年生	8	12%
大学2年生	12	17%
大学3年生前半	12	17%
大学3年生後半	13	19%
大学4年生	5	7%

理系については、大学入学前に院進学を視野に入れている人が多い。

学部3年生のタイミングで大学院入試に向けて準備を進める模様。

10. 先輩から後輩へのメッセージ

大学生活は自分で動けば様々な経験をする事ができます。立場をころころ変えながらいろんな人と会ったりいろんな経験をしたりすることができる大学生活という時間をを最大限に活かしてほしいです。(基礎工学研究科)

大学時代に様々な経験しておくことが大事だと思います。学生という身分だからこそ許されること、できることもたくさんあると思うので、挑戦してってください！(工学研究科)

大学時代は腰を据えて勉強できる最後の機会です。座学だけでなく、就職活動で社会人の方と話すことも勉強になるので、人生の糧にしてください。(外国語学部)

卒業するまで、思っていたよりもあっという間でした。卒業時にあれやっとならよかった…というような後悔をしないよう、限られた大学生活の時間を有意義に過ごしてください。(外国語学部)

私も皆さんもコロナを経験したことで、人生何があるか分からない、思ってもみないことが一瞬にして起こり得るということを痛く実感したと思います。大学生活はあっという間で、かけがえのない時間です。今やりたいことはすぐ行動に移すことをおすすめします！(外国語学部)

人生なるようにしかならないので、結果がどうなるかとベストを尽くしてください。ベストを尽くした結果が失敗だったとしても後悔するとは思いますが、前向きに次の一步を歩めるはずですよ。(工学研究科)

主体的に活動する。自ら考える。このふたつは重要で、大学で磨けると思います。研究や勉強でも磨けますが、それ以外でのアルバイトやサークルでの活動も、積極的に吸収して頑張ってください。(理学研究科)

看護学に進んだからといって、進路はそれだけじゃないよ！自分が本当にやりたいことは何なのか、経験するすべてのことに興味を持って真摯に向き合ってみてください(たとえ興味がなくても！)。希望のある大学生活を！なんでもできる！4年もある！(医学部)

学生生活は本当に短いです！やりたいことをできない理由を探している時間があれば、ぜひぜひ挑戦してみてください！自分の身の振り方だけで、大学での充実度はガラリと変わります！(人間科学部)

大学生活は自由度が高い分、何をするかは自分次第です。自分が面白いと思えることを追い求めることのできる貴重な機会なので、有意義に過ごして下さい。(文学部)

とにかく人の繋がりを広げるべき。サークルや部活はもちろん、外部の活動にも参加するのもあり。そのつながりは、就活、進学に必ず役立つ。(工学部)

就職活動は他人と比べられる機会が多く、本当に苦しいものです。…(中略)…大転職時代の今、その企業のことがどうしても諦めきれないのであれば中途採用などの道もあります。新卒のカードは大事ですが、それだけが全てではないということ覚えていてください。(人間科学部)

困った時は先輩や先生を頼るべし。先輩や先生は相談してくれると嬉しく思ったりするぞ。(工学研究科)

一に学び、二に学び、三四がなくて五に学ぶ、という気持ちで頑張ってください！身体にも気をつけて無理はしないでください！(文学部)

4年というのはあまりに短いのである程度成り行きに任せて勢いを消さないように心がけるといいかもしれません。(工学研究科)

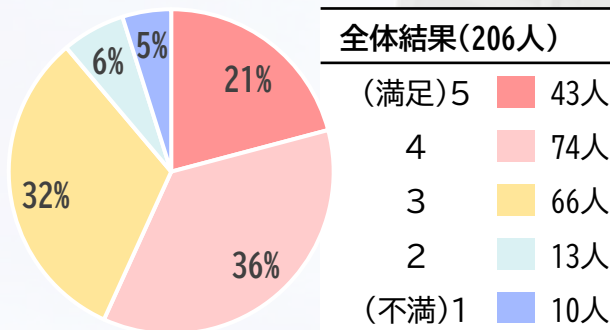
卒業するまで、思っていたよりもあっという間でした。卒業時にあれやっとならよかった…というような後悔をしないよう、限られた大学生活の時間を有意義に過ごしてください。(外国語学部)

11. 大阪大学生協に対する評価/コメント

【質問内容】

- ①大学生協に対する満足度を教えてください。理由も教えてください。(五件法:5とても満足~1とても不満)
- ②大阪大学生協があって良かったな、と感じた場面やエピソード、思い出について自由にご記入ください。
- ③大阪大学生協に「もっとこんな取り組みが必要だ」「これからはこんな取組をしてみたら?」というご意見がございましたらご記入ください。

■大学生協に対する満足度



一 ご不満・改善点について

- パソコンに関しても、食堂に関しても満足いかないものしなかった。
- 決済方法があまりないのが不満。
- 生協の食堂が混みすぎている。
- 仕方のないことではあると思うが、食堂の価格が値上がりしたため。それ以外は、ミールプランなども満足。
- 箕面キャンパスの生協コンビニの品揃えが良くない。
- 途中からアプリに変更してとても面倒になったのと、レシートに栄養がかかれなくなったので!

■大学生協があって良かったエピソード

- JRや高速バスなどのチケットを学内にいながら学割などで購入できた。
- スペインに留学中の友達に会いに行きたくて、航空券を手配してもらったとき、できるだけ安くとの希望をすごく重視してくださった。ありがとうございました。
- 資格受験や本などが組合員価格で安く購入できること。
- 自動車学校や留学など、相談カウンターがあるのが良かった。また、卒業はかまや自動車学校はいろんなところを比較しながら選べるのが良かった。
- 吹田で5年間過ごしましたが、天津中華を食べるためだけに豊中に向かうほど天津中華が大好きでした!
- 下宿探しから食事(ミールプラン)、卒業式の袴まで生活のあらゆる場面を支えてもらった。生協の仲介によって様々な手続きがとても簡単で、困ったときにも相談できるので安心感もあった。
- 病気で長期入院した時、資金を共済・保険で一部助けてもらった。
- 学生委員会などで活動してきた中でいろんな人々と出会う機会があって、世界が広がったこと。
- 店員さんがいつも優しく対応して下さり、気持ちよく利用することが出来ました。
- 憧れの大学に入学して以来、生協の食堂を巡ったり、生協グッズを買ったりするのがとても楽しかったです。

- 全体的に満足度は高く、平均値は【3.62】となった。
- 好意的なご意見を記入する方も多い一方で、「もう少し品揃えやサービスがあれば良かった」「もう少し値段が安ければ…」といったポイントを記入される方も多いです。
- これらの貴重なご意見をもとに、大学生協のサービス向上および事業・組合員活動の発展に努めます。

+ 好意的なご意見について

- 日ごろの生活(学食など)だけでなく、イベント(卒業はかま)や自動車免許取得などの時にお世話になった。
- 大学生生活を様々な方面から支えてもらったから。
- 新幹線のチケット、航空券等、なんでもできて便利だったため。ただ、購買の商品に好みのものが無かったのが難点。
- 生協サービスがある程度充実していると感じるから。
- 使いやすいサービスが多く、大学生活に寄り添っていると感じているから。
- 生協の店員の方の笑顔が眩しかった。
- 天津麻婆丼美味しい。
- 阪大生協の学生団体で活動させていただきました。楽しく、学びながら、やりがいのある仕事をする事ができたのは本当に貴重な体験だったと思います。
- 学生委員会から大変いい経験をさせてもらいました。

■大学生協に今後期待する取り組み

- キャッシュレス決済を導入したらいい。
- 栄養をレシートに記載し直して欲しい。
- 高等司法研究科など学部と異なるスケジュールで動く研究科の授業日には食堂やコンビニを開けてほしい。
- 箕面キャンパスの食堂の営業時間の短さや購買の商品の少なさ、どうにかしてあげて欲しいです。
- 食堂のメニューで人気なメニューが突然消えてしまうのは残念だった。
- もう少し値下げをしてほしいです!
- 友人と勉強ができるカフェがほしい。
- 生協の提供サービスが存在するのはなんとなく伝わっているが、実際使われていないのが現状なので、看板で分かりやすく誘導したりすることが重要だと思う。
- お得なサービスを提供してくださっていても、学生には知名度がないことも多いので、カウンターや、関連書籍の棚に関連サービスの広告を貼るとよいかも。
- 大阪大学の学びの楽しさを実感できる学びと成長のコンテンツ。(大学教員×生協のコラボイメージ)
- メイクやオフィスファッションなどの新社会人向け講座
- 組合員同士の交流サービス(Slack, Discordなど)
- 社会人として必要な知識の伝授(保険や税金など)
- 引越しだけでなく家具の回収業者の割引なども欲しい
- 新生活までやっておくべきことリスト

大阪大学生協院生委員会のご紹介

- 大阪大学生協院生委員会は大阪大学の院生組合員・上級生組合員の暮らしをより良くするための委員会です。本アンケートの調査項目設計および分析にも関わっています。
- 他にも、新入大学院生向けの情報発信や、研究室向けの新たなサービス検討など、卒業生・大学院生の生活をより良くするための取り組みを進めています。
- 詳しくは、大阪大学生協院生委員会のホームページをチェックしてみてください!
<https://osaka-univ.coop/insei-committee/>



大阪大学生協 院生委員会